

# あかるいまち 21

No.1649 2024年4月15日  
組合員活動推進課 082-532-1264

	4月	2024年度
組合員ふやし	42人	42人
出資金ふやし	438万円	438万円
純増	36万円	36万円

## 己斐上支部 春の日帰りゆったりバスツアー

桜の開花には少し早い曇り空の3月19日 佐伯区の湯来ロッジへ行ってきました。久しぶりのバスツアーに胸を膨らませての18名の参加でした。

地元特産の山菜 タラの芽葉ワサビ 菜花「オオサンショウウオのこんにやくも可愛いけど食べるにはちょっとね」と盛り上がっていました。でも皆さん主婦。エコバック持参であれこれ品定めしながら帰りには大きな袋になっていました。

散策道の脇にはつくしが群生シタ飯の1品になりました。足湯の湯がぬるく足湯は断念。しかし温泉は単純弱

放射能温泉で最高のお湯でした。ポイント手帳は皆さんびっくりするぐらいびっしりハンコが押されて色んなところに社会参加されているのに感動しました。昼食は美味しい梅の箱膳でその後自己紹介、お楽しみ会では珍しい餃子じゃんけんゲーム。3人1組でチョコはニラ、パーは皮、グーは具の3つが3回揃うまで時間を忘れるぐらい夢中で対戦していました。ビンゴゲーム、カラオケ等で楽しみ、増資のお願いにも快く提供していただき、大自然の中、身も心も癒され最後にまたお会いしましょうねとお別れしました。

記：鶴岡里子

## 生協10の基本ケア学習会 ～安芸中央支部～

3月29日(金)安芸福祉センターで5月オープン予定の佐伯区看多機施設の学習会が行われました。講師は生協本部の大野常務理事さんで参加者は12名でした。

内容は、看多機が基本理念とする生協10の基本ケアとは？と一ヶ月後にオープンする施設の説明でした。生協10の基本ケアとは？心豊かな暮らしを実現する為に必要なケアで、大野常務理事さんは数年前、脳梗塞で長期入院リハビリ後職場復帰されていてその経験を踏まえて「換気する」「床に足をつけて座る」等当たり前のように思う事にも大切な意味がある事を具体的に説明されました。

また、五日市の看多機施設の構造も図面を見ながら話されました。この施設は、基本入所施設ではなく通い(デイサービス)だが看護師3名を常駐し泊まり(ショートステイ)を組み合わせた施設である事。そして健常者も利用できる地域解放サロンを併設して健康作りを推進して行く場とするとの説明がありました。

この佐伯区の施設は、広島市の介護事業の一環として採用されたそうで安芸区にも出来る可能性はあるとの事。なかなか難しいとは思いますが是非実現して欲しいと思いました。

記：川手 豊美

